



< 2025.6 >

BULLETIN

2024年7月～2025年6月

会 長 樋口 順英
副 会 長 青木 方枝
書 記 村杉 一榮
会 計 小仁 恵子
監 査 柿沼 敬喜
担当主事 柳原みづき

国際会長 A・シャナヴァスカン 「より良い世界のために、共に」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事 山田 公平 「ワイズの方向性を見極める」
関東東部部長 山本 剛史郎 「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」
クラブ会長 樋口 順英 「元気で楽しいのが一番！」

6月度 ペンテコステ(教会の誕生)

主の霊のおられるところに自由があります。(コリントの信徒への手紙二の第3章17節)

***聖霊を受けた者は、完全な自由を得ます。**

2025年6月例会

日時: 2025年6月18日(水)18:00 ~ 20:00

場所: 東京YMCA東陽町センター

司会:村杉メン、受付:小仁メン

開会点鐘
ワイズソング・ワイズの信条
聖句・お祈り
ゲスト、ビジター紹介
この一年のふりかえり
各種意見交換
各種報告
YMCA 報告
ハッピーバースデー
閉会点鐘

樋口 会長
全 員
西澤 メン
樋口 会長
各メンバー
各メンバー
樋口 会長
柳原 主事
古平、村杉各メン
樋口 会長

★お弁当注文の都合上、ご出席者は6月14日までに青木メン迄

【例会出席率】 在籍:16名 5月出席率8/13 62%

出席:5月 (メン8名、メネット0名) 計8名

【ニコニコ】 ¥10,000

今期を振り返って(会員増強対策の私案)

柿沼 敬喜

現在、会員増強がいずれのクラブでも最大かつ永久の課題と思われる。ボランティア活動が多様化する中、若い後継者不足に多くのクラブも困窮している。

しかし、現状では、どのクラブも有効な策がなく、このままでは、クラブの消滅も免れない。

この高齢化時代に、人生は楽しく、「濡れ落ち葉的人生」は送りたいと思う会員のための私案を下記する。

- 1) 「クラブの目的はYMCAを支援すること」であるが、肝心YMCAは昔のような新進気鋭な姿が見られず、日常の業務に振り廻わされている。→まず、若く、新進な「東京YMCAの新総主事」に知名度のアップを期待したい。
- 2) ワイズメンバーにサラリーマンが多くなり、金も時間も融通が効かなくなった。このままでは、YMCAへの貢献度は、落ちるばかり。→CS事業はNPOを結成・法人化して、資格等はYMCAの協力を得て開催し、参加者には費用及び交通費も支給する。また、有望な入会候補者(3～5人/1会員)にはクラブが一団となり歓迎・支援する。

以上

◆2025年5月例会報告

日 時：2025年5月21日(水) 18:00~20:00

場 所：東京YMCA東陽町センター

出席者：青木、柿沼、小仁、佐野、西澤、村杉、樋口、柳原、

ゲスト：にほんご学院 講師 仲山 淳子 氏

ビジター：本川悦子メン(西) 山本俊一メン(甲府21)

小原史奈子メン(たんぽぽ)

龍野裕通様(江東区国際交流協会)代表

立部智士様(同上)

龍野真知子様(東陽町コミュニティー委員会委員)



▲ 概要

- にほんご学院の人気講師、仲山淳子氏【写真上】をお招きしました。ビジター出席者も多く、盛況で楽しい会となりました。すばらしい卓話でいい勉強になりました。
- 本卓話開催は、クラブの都合により延び延びになってしまい、先生にはほんとうにご迷惑をおかけしました。お詫びいたします。(樋口 記)

▲ 卓話の概要

卓話者：仲山 淳子 氏 (にほんご学院 講師)

卓題：「やさしい日本語」

● 「やさしい日本語」とは？

- ① 外国人向けの日本語であるとともに、日本人に対しての「やさしい日本語」でもあります。
- ② 日本で、困っている外国人に声をかけるとき、ふだん使われている言葉を外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語で話しかけることも大切です。

(※国立国語研究所の調査によると、日本に住む外国人住民の中で日本語ができる人の割合は62.6%に対し、英語ができる人は44%です。)

- ③ やさしい日本語のきっかけは1995年の阪神淡路大震災の際、外国人被災者への情報伝達を主な目的として考案されました。
- ④ 現在ではNHK、自治体、外国人支援団体、医療介護の現場、観光情報など、様々な分野で活用が広

がっています。NHKのニュースや自治体のウェブサイト、公共サービスのマニュアルなどでも「やさしい日本語」が取り入れられています。

- ⑤ 今や、外国人だけでなく、子ども、高齢者、障害のある人など、多様な人々にとって分かりやすい日本語の普及を目指す動きに繋がっています。

● 「やさしい日本語」つくりかたの秘訣や工夫

- ① はっきり言う
- ② 最後まで(しっかり)言う
- ③ 短く言う(一文を短く)
- ④ ゆっくりめに話す
- ⑤ 敬語を使わず「です・ます」を使う
- ⑥ 文章語や専門用語を避け、日常的な言葉を使う
- ⑦ ふりがなをふる
- ⑧ 二重否定を使わない：肯定表現に変える
- ⑨ 複文を避ける(二文に分ける)
- ⑩ その他イラストやジェスチャーなども活用し、コミュニケーションを円滑にする。

● 「やさしい日本語」に変える実践体験

日常会話や掲示で見かける日本語を、より分かりやすい表現に言い換える練習を行いました。

- ・ 「何をお召し上がりになりますか？」
→「何を食べますか？」
- ・ 「チケットを拝見させていただきます。」
→「チケットを見せてください」
- ・ 「どちらにお住まいですか？」
→「家はどこですか？」
- ・ 「現金しか使えません。」
→「現金だけです。」
- ・ 「飲食はご遠慮ください。」
→「食べないでください。」「飲まないでください。」

「やさしい日本語」は30年前からあるので、ぜひ周りの人に伝えてください。「優しい(簡単)」という意味と、相手に「優しくしましょう」という二つの意味が込められており、ひらがなで表記されることが多いです。



【写真上】ビジター出席者の方々 (次ページに)

(前ページから)

▲ 聴講者のご感想

1) とても有意義な例会でした。「やさしい日本語」使って見たいですね。私が住む池袋は訪日客が多く、「やさしい日本語」使う機会は作れそうなので、がんばってみます。(S.O さん)

2) 当初の目的である、「やさしい日本語」について知識を得る事が出来たとともに、仕事上でも、活かすことができる、と思った次第です。(T.Y さん)
(村杉 記)

▲ハッピーバースデー： 青木、小仁、目黒、柳原各メン



◆ (5/17) 第2回関東東部評議会報告

日時:5月17日(土)13:30~16:45

場所:東京YMCA東陽町センター

出席者:25名、うちグリーン3名(樋口、村杉、小仁各メン)

1) 部長、ユース・会員増強主査による活動報告

2) 各クラブ活動報告

3) 議事:以下①②議案につき承認されましたが、③協議案につき、今後各クラブで話し合うこととなりました。

① 議案:24・25年度会計報告

② 議案:25・26年度関東東部役員

③ 協議案:東日本区信条の意義を検証する

4) 次期理事キャビネットより、25・26年度方針について予算、役員、事務手続き、会計方針、カレンダー募集などにつき説明がありました。緊縮予算の折、事務簡素化などの変更点ありご留意ください。(樋口 記)

◆ (5/24) 在京ワイズ会長会報告

日時:5月24日(土)10:00~11:30

場所:東京 YMCA 山手センター

1) 東京YMCA総主事星野太郎様のご挨拶

・2030年創立150周年に向けて中期計画策定中

・大事にしたい5つのキーワード

① ユースが輝く場

② 地域とともに歩む

③ 多様性のある場を大切に

④ 環境、子供の未来のために

⑤ 組織の強化、寄付、募金、ボランティア増強

2) 同、会員部運営委員長の会員活動報告

蒔田敏雄氏、担当主事熊沢佳代氏による報告

3) 2026年在京ワイズ合同新年会日時等決定

日程:2026年1月10日(土)、場所未定

ホストクラブ:東京武蔵野多摩クラブ

4) 新年度幹事は

小原史奈子様(東京たんぽぽ)と伊藤幾夫様(東京多摩スマイル)とが選出されました。(樋口 記)

◆ (5/10) 第91回「神田川船の会」中止

2025年5月10日(土)行う予定でしたが、雨天と高波が予想されたため残念ながら中止させていただきました。

次回は、10月11日(土)開催いたします。

(目黒 記)

◆ 2025年6月第二例会(役員会)予告

日時:2025年6月11日(水) 15:00~17:00 Zoom

1) 6月例会運営

① 「ふりかえり」

② 今年度および来年度予算案策定の件、ほか

2) 来年度例会開始時刻の変更(18:00→17:30)

3) 「神田川船の会」運営関係打合せ、その他

(樋口 記)

◆今後の主なスケジュール

1) 6月 6日(金) 田園調布学園船上学習(浅草橋)

2) 6月 7日(土) 第28回東日本区大会(宇都宮)

3) 6月11日(水) 6月第二例会(Zoom)15:00~

4) 6月18日(水) 6月例会(東陽町)18:00~

5) 7月 9日(水) 7月第二例会(Zoom)15:00~

6) 7月10日(木) 前期半年報提出期限

7) 7月16日(水) 7月キックオフ例会

8) 8月1日(金)~3日(日)アジア太平洋地域大会(熊本)

9) 8月6日(水) 8月第二例会(Zoom)15:00~

10) 8月15日(金) 前期区費納入期限

11) 8月20日(水)8月納涼例会(場所未定)

12) 9月5日(金)~7日(日) YVLF(富士山Y)

(樋口 記)

24/25年度会費振込のおねがい

お世話様です。振込口座は下記でお願いいたします。

みずほ銀行 深川支店#446 (普) 3064402

名義 トウキョウグリーンワイズメンズクラブ

フリテン書棚

「カフネ」 阿部 暁子 著
(講談社)

(2025年度 本屋大賞)



愛する弟を亡くした姉、野宮董子と弟の恋人であった小野寺せつなとの愛憎物語。相手を思い、尽くすことで自らの心を安んじる董子とせつなの関係性に感動する。

同時に“せつな”が料理のプロであることから、詳細なレシピがイロイロな場面で出てくるとも興味が湧く。弟が婚約者として“せつな”を、董子と両親に紹介する場面から始まる。

初対面では、董子は必ずしも気持ちよく受け入れたわけではなかった。ところがその後しばらくして突然弟の急死に出会う。頼りにしていた肉親の死にショックを受けた董子は、自死でもない、事故でもないと言われると何故と言う疑問が沸き起った。そこで元恋人となった“せつな”と連絡を取り弟の最期を知りたいと願った。

彼女が、料理の腕を生かして家事代行の仕事(主として食事の準備)をしていることを知り興味を持つ。そこで董子は土曜日を利用して無料の家事代行に付き合うことにした。少しでも多く弟の情報を集めたかったと言う理由でもあった。弟が“せつな”に心酔しており一緒に仕事をしていたことも知る。

いろいろな家庭事情に触れて日本の貧困家庭の課題と向き合う。やがて董子は、理解のある夫公隆(弁護士)と悲しい別れをしたことを告白する。そして董子は“せつな”が重大な病気を隠していたことを知った。

どうしようもない運命のいたずら。人間の英知を超えた運命に翻弄される董子、“せつな”を中心に周りにいる善意の人たちの思いやりなど哀愁を感じる小説である。

(西澤 記)

YMCA コーナー

- 5月末を期限に**ミャンマー緊急支援募金**を実施した。寄せられた募金はミャンマーのネピドーYMCAに送金を予定している。これまでに下記の通り街頭募金をいただいた。
 - 4月17日:高田馬場駅 参加者:38名募金額:116,816 円
 - 4月22日:東陽町駅前 参加者:71名募金額: 87,324 円
 - 5月16日:東京駅前 参加者:14名募金額: 62,648 円
- 5月24日、「**第22回東京YMCA会員大会**」が開催され、山手センターに88名が集い、5名がオンライン配信を視聴した。
 - 開会礼拝に続き蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部を開会。星野太郎総主事から東京YMCAの活動報告があり、2025年度の会員部運営委員が推挙された。
 - また吉田明弘氏と香取良和氏が名誉会員に推挙されたほか、会員部運営委員や震災復興タスク委員長を歴任された小原武夫氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られた。
 - 特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。
 - 第三部では、中期計画策定委員長の上田晶平氏と各委員より中期計画「TOKYO YMCA VISION 150」についての報告があった。
 - 第四部では、クラウドファンディング等の報告に加え、レクリエーションやキャンプソングを楽しんだ。
- 6月3日より、**夏季キャンプ・スクール受付を開始**する。水泳、英語、リミック、キャンプなどの各種プログラムを準備。今回もフレンドシップファンドを活用し経済的に困難なご家庭には所得に応じ参加費を援助する。
- 大阪で開催される「**YMCA世界大都市会議**」に合わせ、6月下旬から7月上旬にかけて、下記海外YMCAの幹部関係者が東京YMCAを訪問予定。

・ラテンアメリカ&カリブ YMCA	Karla Rosado Lopez 氏
・世界YMCA同盟	Carlos Sanvee 総主事
・世界YMCA同盟	Razvan-Victor Sassu 氏
	(Vision2030 推進責任者)
・ニュージーランドセントラル YMCA	Anthony de Rose 総主事
・ウクライナYMCA	Viktor Serbulov 総主事
・サンパウロYMCA	Christina 総主事
・フィラデルフィアYMCA	Shaun Elliott 総主事
・アメリカYMCA	Tom Valentine 氏
・アジア・太平洋YMCA同盟	Nam Boo Won 氏
- 今後の主な行事予定
 - ・「**早天祈祷会**」6月2日(山手センター／オンライン)
奨励:鈴木功男氏
 - ・「**ウォーターセーフティーデー**」6月22日(東陽町・山手)
6月29日(御殿山)
 - ・「**YMCA世界大都市会議**」6月29日～7月3日(大阪)
 - ・「**キッズワールドカップ in 韓国**」8月8～12日
(ソウルYMCAダラグオンキャンプ場)
 - ・「**外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ**」
8月22日～24日(山中湖センター)
(クラブ担当主事:柳原 記)